

平成 28 年度個別報告書

八洲学園大学生涯学習学部

学 科	生涯学習	職 名	准教授	氏 名	竹田 葉留美
1. 教育活動					
1) 28 年度の担当授業科目 28 年度は、担当授業がなかったので、29 年度の授業にむけての準備を行った。					
2) 授業の創意・工夫 来年度担当する心理学、社会心理学は心理学を学ぶための基礎となるものである。 そのため、初学習者が分かりやすいように、教科書に載っていない事柄や詳しい用語の説明などを記載するようにした。					
3) 教科書の執筆 講義では教科書とレジュメを使用するため、レジュメをパワーポイントで作成。 またテキスト履修の英語の講義では、学生が興味を持ちそうなトピックスを選択し、読み進めていきやすい内容のものにした。					
2. 研究活動					
1) 従事した研究内容 観光心理学における地域資源の再発見・再評価 ー地域活性化・地域役割としての『祭礼』					
2) 研究成果 祭礼についてのイメージには、1) 個人の体験の有無（身近に「祭り」の存在があったかどうか）、2) 祭礼についての知識の有無、3) 立場の違い（祭礼に参加する当事者あるいは見学者）4) 祭礼そのものへの関心の有無、5) 楽しそう、大変そうというような感情的側面など様々な要素が存在している。そのため祭礼についての、どの側面のイメージについて調査するのかの検討が必要である。					
3) 学会活動 日本心理学会、日本心理臨床学会に参加（ともに発表なし）。					
3. 学内活動					
1) 委員会活動 なし					
2) その他 公開講座：1. 人間関係を考える心理学～心の健康と社会的支援～ 2. 人間関係を考える心理学～対人魅力 人を好きになるのはなぜ？～					

4. 社会活動

1. 一般社団法人情報科学技術協会のジャーナルへの投稿（コラム）。

題目：出来事の視点を変えてポジティブに考える～リフレーミングを活用したストレスマネジメント～

2. 横浜マネージャーズセミナーにてビブリオバトルの企画運営。
3. 『これからの横浜にとって、必要なツーリズムを考えるナイト』参加。オリンピックに向けての横浜に必要なこれからの観光について意見交換。